資料提供：2015年1月7日（水）
送信元：六甲山観光株式会社
自然体感展望台 六甲枝垂(しだ)れ

行こう！六甲
Let's go to ROKKOSAN

News Release

六甲山の冬の風物詩「氷の切り出し」を大寒の1月20日（火）10：00から行います！

阪神電気鉄道株式会社（本社：大阪市　社長：藤原崇起）のグループ会社である六甲山観光株式会社（本社：神戸市　社長：岡本交右）が六甲山上で運営する「自然体感展望台 六甲枝垂（しだ）れ」では、**2015年1月20日（火）に、「氷棚（ひょうだな）」**（※1　別紙参照）**にできた天然の氷を切り出し、「氷室（ひむろ）」に氷を運び入れる「氷の切り出し」を実施します。**

※過去の「氷の切り出し」の様子

◆自然体感展望台 六甲枝垂れ「氷の切り出し」概要

【日時】2015年1月20日（火）／ 10：00～

※当日は、「氷の切り出し」の様子を一般公開致します。
また、通常は氷の保存上閉めきりでご覧になれない
「氷室」（氷を貯蔵する部屋）の内部も、
当日10：00～14：00に限り一般公開します。

※気象状況や氷の出来具合により、氷の切り出しが
実施できない場合もあります

■自然のサイクルを生かした冬行事

「自然体感展望台 六甲枝垂れ」は、建築家「三分一博志（さんぶいちひろし）」による設計の展望台で、2010年7月13日に六甲山のランドマークとして開業し、今年5周年を迎えます。

六甲枝垂れでは、六甲山の四季折々の自然を体感できる様々な試みがなされており、この度行う「氷の切り出し」もそのひとつです。夏に実施する**「冷風体験」**（※2 別紙参照）に必要な天然の氷を、冬の間に採取するための行事です。

採取した氷は展望台内部にある「氷室」に夏まで貯蔵します。夏になると、「氷室」の中に六甲山に吹く風を取込んで冷却し、その風を「風室（ふうしつ）」という展望台内の部屋に送ることで、冷風を体感できます。

この自然循環システムは、かつて六甲山で行われていた「氷の切り出し」をヒントに考え出されました。

この機会に、皆さまには六甲山の冬の魅力や歴史を再認識していただくとともに、自然と調和した「自然体感展望台 六甲枝垂れ」の様々な工夫を知っていただければ幸いです。

■六甲山での「氷の切り出し」の歴史

六甲山では、山上に作った溜め池に厚く張った天然の氷を冬の間に採取して氷室に貯蔵し、春から夏にかけてその氷を麓まで降ろし、神戸や大阪の市街地まで運んで売っていた歴史があります（冷蔵庫ができるまで、氷は大変貴重でした。）。氷を運んでいた道は、「アイスロード」という名称で、現在もハイキング道として残っています。

【リリース資料に関する問い合わせ先】
六甲ガーデンテラス
TEL：078-894-2281／FAX：078-891-1171　住所：神戸市灘区六甲山町五介山1877－9

※1　氷棚（ひょうだな）について

展望台東側に位置する「氷棚」では、雨水を溜めて冬の間に天然の氷を作ります。この氷をのこぎりやチェーンソーを使って切り出し、展望台内部にある「氷室（ひむろ）」に貯蔵します。夏に冷風体験をするためには、「氷棚 8 面×3 回の切り出し」程度の氷が必要な為、この冬、数回にわたって切り出し作業をする予定です。

雨水を溜める為の「氷棚」

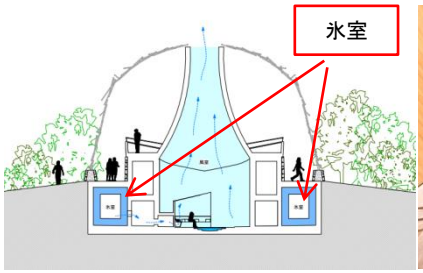
冬場は「氷棚」に溜った雨水が凍る

厚い氷が張ると、氷の切り出しを行う

※2　冷風体験（れいふうたいけん）について

「冷風体験」は、氷を貯蔵している「氷室」に六甲山上に吹く風を取り込み、展望台内部の「風室（ふうしつ）」に循環させ、涼を楽しんでいただく試みです。「氷室」を通った冷たい風は「風室」にある椅子のヒジ置き部分から室内へ取り込まれます。真夏でも「風室」内は20℃程度に保たれており、ヒノキの香りとともにひんやりと心地よい空間が広がります。

＜冷風体験イメージ＞

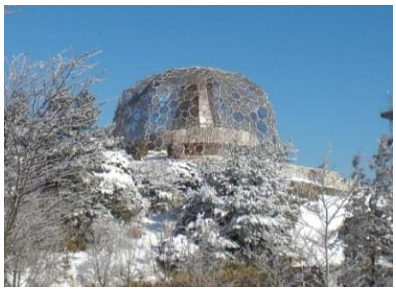


六甲山に吹く風を「氷室」に取り込む

風室内で冷風体験をする様子

天井部分の穴から空気が排出される

■「自然体感展望台　六甲枝垂れ」営業概要



【営業時間】

10：00～17：00（最終受付16：30）

※1月13日（火）～3月13日（金）の営業時間です
※～1月12日（月・祝）、2月19日（木）～3月1日（日）は
　10：00～21：00（最終受付20：30）
※天候等により変更する場合があります

【定休日】

無休　※1月27日（火）・28日（水）はメンテナンスの為臨時休業

【入場料】

大人（中学生以上）300円／小人（4歳～小学生）200円

【所在地】

〒657-0101　神戸市灘区六甲山町五介山1877-9
TEL：078-894-2281／FAX：078-891-1171